TOURATECH Japan

原本作成 2009/3
日本語訳作成 2010/7

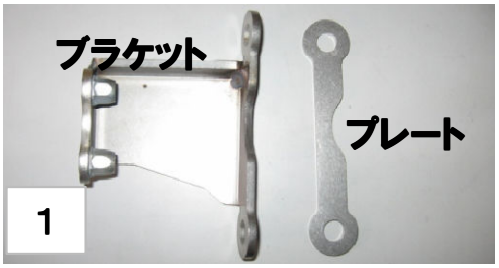
01-046-0230-0

取り扱い説明書
ボトムロールバー XT660テネレ

商品内容:
1xロールバー(左)
1xロールバー(右)
2xブラケット
2xプレート
1xアルミスペーサー20mm
2x六角穴付きボルトM10x90
2x六角穴付きボルトM10x40
2x六角穴付きボルトM8x20
1x皿ボルトM8x20
4xワッシャー(大)M10
2xワッシャー(小)M8
2xセルフロックナットM10
2xセルフロックナットM8

重要事項:
部品を取り付けた後、最初の50kmを走行したならば全ての部品の固定状況を点検して下さい。その後も定期的に点検を実施しなければなりません。

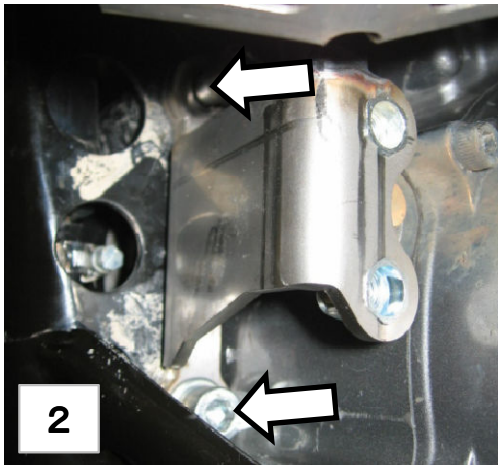
スモールエンジンガード(01-046-0210-0)と同時に装着する場合は手順が一部異なります。



取り付け:
1)ロールバーの末端にゴムキャップが正しく挿入されていることを確認して下さい。

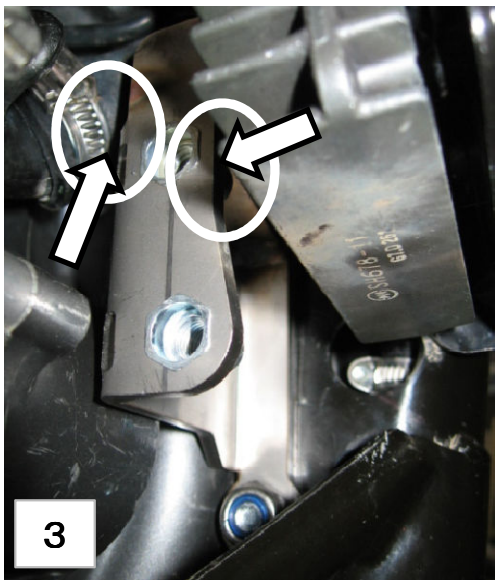
2)オリジナルのエンジンガードを取り外します。

ブラケットをクラッシュバーに適合させるために以下の順序で取り付けま



最初にフレーム先頭にある2本の低いボルトを取り外します。
このボルトを引っ込めて下さい。そしてフレームを通して反対側からそれを押し戻します。次に上部のボルトを取り外して下さい。

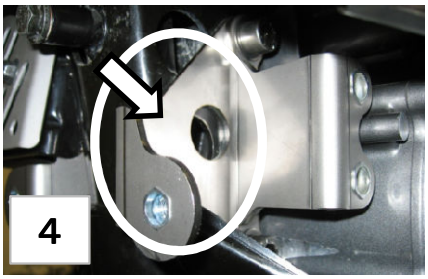
左手にブラケットをプレート共に置きます(写真1)。そして商品付属のM10x90ボルトとM10ワッシャーを用意します。そして下部のオリジナルのボルトを取り外し、このM10x90ボルトと入れ替えます(写真2)。
また左側からフレームにこれを通して下さい。



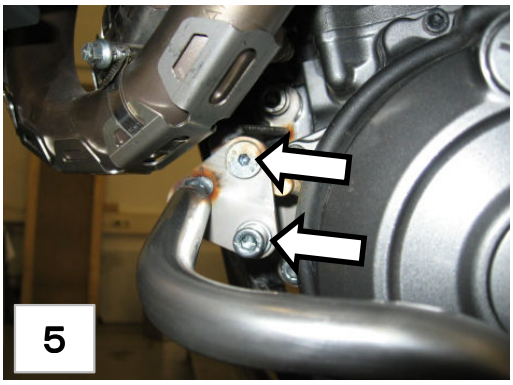
今度はフレームの上のボルトに右側ブラケットを用意します。そして残り2枚のM10ワッシャーとオリジナルのナットをナットを利用してこれらを固定します(写真3)。

35Nmの締めつけトルクで各ボルトを締めて下さい。
この時に右側のブラケットがホースやレクチャファイアと接触していないことを確認して下さい(写真3の図示部分)。

01-046-0230-0

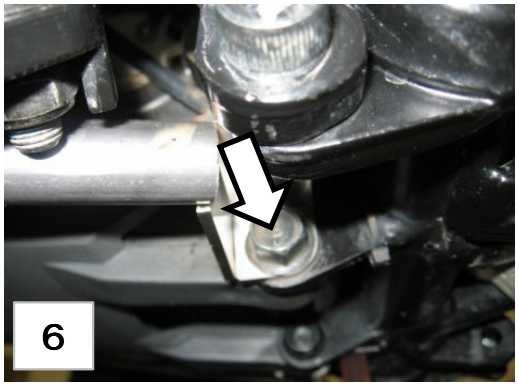


補足事項:
スモールエンジンガード(01-046-0210-0)と同時に装着する場合には、エンジンガードブラケット(写真4の図示部分)があるのでプレートは不要となります。

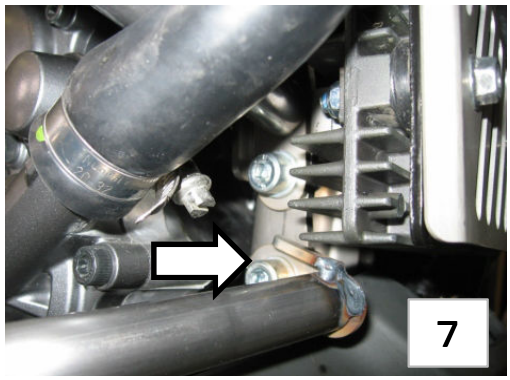


3)次にエンジンガードをあてがいます。ただし後部ブラケットのボルトはまだ完全に締めないで下さい。

4)前部左側のブラケットに左用クラッシュバーをあてがいます。そして供給された皿ボルトとM8x20ボルトと共にM8ワッシャーでそれを取り付けます(写真5)。



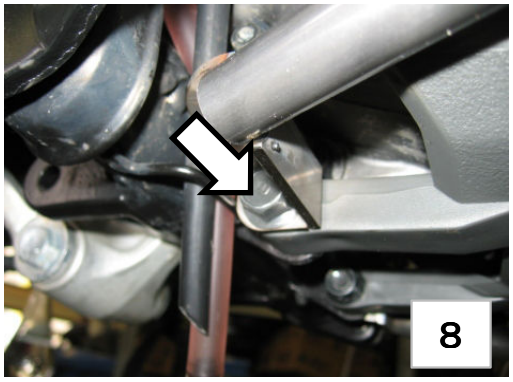
後部では供給されたM10x40ボルトとセルフロックナットM10を使用して取り付けます(写真6)。



5)前部右側のブラケットに右用クラッシュバーをあてがいます。そしてM8x20ボルトとM8ワッシャーでそれを取り付けます(写真7)。

後部ではエンジンガードの上にクラッシュバーをあてがいます。そしてM10x40ボルトとセルフロックナットM10でそれらを一緒に取り付けます(写真8)。

補足事項:
スモールエンジンガード(01-046-0210-0)と同時に装着する場合には、後部のブラケットとクラッシュバーの間の右側にアルミニウムスペーサーを挿入します。



全てのM8ボルトを20Nmのトルクで締めつけます。
全てのM10ボルトを45Nmのトルクで締めつけます。

6)全ての部品の固定状況を確認して下さい。そして最初の50kmの距離を走行した後で再び固定状況を確認します。その後も定期的に部品の固定状況を確認して下さい。